

製品名: BST2 (1019) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07675**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	BST2
別名	Bone marrow stromal antigen 2; BST2; CD317; HM1.24 antigen; NPC A 7; Tetherin;
遺伝子 ID	684.0
SwissProt ID	Q10589
免疫原	ヒト BST2 の合成ペプチド

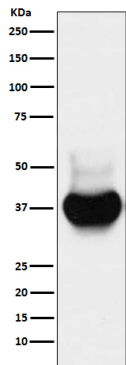
背景

分泌タンパク質の選別に関与している可能性がある（類似性による）。プレ B 細胞の増殖に関与している可能性がある。細胞表面からのレトロウイルスの放出を阻害する抗レトロウイルス防御タンパク質。インターフェロン誘導性抗ウイルス宿主制限因子は、新生ウイルス粒子を感染細胞の膜に直接固定することにより、多様な哺乳類エンベロープウイルスの放出を効率的に阻害する。直接的な物理的固定因子として機能し、ウイルス粒子を細胞膜に固定し、互いに結合させる。固定されたウイルス粒子はエンドサイトーシスによって細胞内に取り込まれ、その後分解されるか、細胞表面に残留する。いずれの場合も、細胞フリーウイルス粒子としての拡散は制限されています (PubMed:22520941、PubMed:21529378、PubMed:20940320、PubMed:20419159、PubMed:20399176、PubMed:19879838、PubMed:19036818、PubMed:18342597、PubMed:18200009)。標的ウイルスは多様な科に属し、レトロウイルス科: ヒト免疫不全ウイルス 1 型 (HIV-1)、ヒト免疫不全ウイルス 2 型 (HIV-2)、サル免疫不全ウイルス (SIV)、馬伝染性貧血ウイルス (EIAV)、ネコ免疫不全ウイルス (FIV)、プロトタイプ泡状ウイルス (PFV)、メイソン・ファイザーサルウイルス (MPMV)、ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1)、ラウス肉腫ウイルス (RSV)、マウス白血病ウイルス (MLV)、フラビウイルス科: C 型肝炎ウイルス (HCV)、フィロウイルス科: エボラウイルス (EBOV) およびマールブルグウイルス (MARV)、アレナウイルス科: ラッサウイルス (LASV) およびマチュポウイルス (MACV)、ヘルペスウイルス科: カポシス肉腫関連ヘルペスウイルス (KSHV)、ラブドウイルス科: 水疱性ヘルペスウイルス (KSHV) などが含まれる。口内炎ウイルス (VSV)、オルトミクソウイルス科: インフルエンザ A ウイルス、パラミクソウイルス科: ニパウイルス、コロナウイルス科: SARS-CoV (PubMed:22520941、PubMed:21621240、PubMed:21529378、PubMed:20943977、PubMed:20686043、PubMed:20419159、PubMed:20399176、PubMed:19879838、PubMed:19179289、PubMed:18342597、PubMed:18200009、PubMed:26378163、PubMed:31199522)。MMP14 の細胞表面タンパク質分解活性を阻害し、MMP15 の活性化を低下させることで、細胞の増殖と遊走を阻害します (PubMed:22065321)。LILRA4/ILT7 によるシグナル伝達を刺激し、結果としてウイルス感染に対する形質細胞様樹状細胞によるインターフェロン産生に負のフィードバックを提供します (PubMed:19564354、PubMed:26172439)。極性上皮細胞における頂端下アクチン細胞骨格の形成に関与します。アイソフォーム 1 とアイソフォーム 2 はどちらも効果的なウイルス抑制因子ですが、抗ウイルス活性とシグナル伝達活性は異なります (PubMed:23028328、PubMed:26172439)。アイソフォーム 2 は HIV-1 Vpu による分解に抵抗性を示し、Vpu 存在下で HIV-1 ウイルスの出芽を阻害します (PubMed:23028328、PubMed:26172439)。アイソフォーム 1 は NF- κ B の活性化因子として作用し、この活性はアイソフォーム 2 によって阻害されます (PubMed:23028328)。

研究分野

心臓血管、血液、NF κ B 経路、免疫学、適応免疫、B 細胞、非 CD、タグと細胞マーカー、幹細胞、造血前駆細胞、表面分子、免疫系疾患、抗ウイルスシグナル伝達、HIV 関連、神経科学

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の BST2 発現のウェスタン プロット分析。